

# 令和5年度学校自己評価システムシート ( 県立騎西特別支援学校 北本分校 )

目指す学校像	自立や社会参加向け、心豊かにたくましく生きる力を育て、保護者や地域から信頼される学校
--------	--

重点目標	1 発達段階や教育的ニーズに応じた専門性の高い授業を展開し、自立活動や体験活動を通して児童生徒一人一人の可能性を延ばす教育を推進する 2 小・中・高の連続性のある進路指導体制を構築し、児童生徒の自立と社会参加に向けた教育を推進する 3 危機管理の意識を高め、事故防止と緊急時に備えた安心安全な学校づくりを推進する 4 保護者や地域と協働し、開かれた教育課程の実現と児童生徒の豊かな成長を支える学校づくりを推進する
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	開校間もないこともあり、教員間での領域、教科に対する指導観や方針が未統一である。校内研修を充実させ、北本分校としての教育課程、指導方針、評価等の統一を図る必要がある。	・3学年分の教育課程の整備。	・教育課程検討委員会を中心とした課題整理、検討、策定。 ・自立活動、職業に係る研修と教員間で情報共有する。	・令和6年度の教育課程を編成することができたか。 ・全校教員研修を実施することができたか。 ・分校グランドデザインを作成することができたか。			
	ICT機器環境は整ったが、授業における活用においては限定的である。教育コンテンツやgoogle classroomを活用して、障がいの状況に応じた、実践的なICT活用能力の育成を目指す。	・ICT機器を活用した授業の推進。	・ICT担当教員を中心に教員向け研修や情報提供を行い、学校全体のICT活用の機運を高める。 ・様々なコンテンツ使用を試行し、本校の教育課程に合った活用事例を積み上げる。	・情報教育をはじめとする教員向け研修情報共有ができたか。 ・ICT教育コンテンツの使用を推進することができたか。			
2	4職業種がスタートし、全体目標を検討中。各職業種の授業とキャリア学習の有機的な連携を図り、自立に向けたキャリア教育を充実させることが課題である。	・職業における全体目標の策定とキャリア教育の推進。	・教育課程上の職業の位置づけを整理し、全体目標を策定する。 ・キャリア教育の全体計画を検討、整理し策定する。	・職業全体目標を策定することができたか。 ・キャリア教育全体計画を策定することができたか。			
	通学区域が広域のため、現場実習、進路決定に向けた企業等開拓の課題が大きい。さらに、進路指導の情報を全校で共有し、授業実践に融合させることには課題がある。	・企業情報の収集と関係機関との連携。	・進路指導主事を中心に企業開拓を行い、実習先の確保に努める。 ・教員同士で職業の授業を参観し合い、キャリア教育を推進する。	・企業先情報を整理し、共有することができたか。 ・教員相互の授業参観を行い、キャリア教育を推進することができたか。			
3	危機管理マニュアルを実効性のあるものに再整備する必要がある。さらに、安全な学校環境の整備に向けて、ヒヤリハットを積極的に活用することに課題がある。	・各種マニュアルの再点検と安全安心な教育環境の整備。	・危機管理マニュアルの見直しと有事に想定したシミュレーション研修を行う。 ・保健・環境部を中心に、ヒヤリハット事例を集約、共有し、安全安心な教育環境の整備に迅速に対応する。	・危機管理マニュアルの見直しと整備を進めることができたか。 ・ヒヤリハット報告を活用し、学校、学習環境改善ができたか。			
4	学校ホームページについて、定期的に更新し、わかりやすく、再訪したくなる工夫が必要である。	・積極的な情報発信。	・学校ホームページのレイアウトの工夫と定期的な更新を行う。 ・学校説明会等のページを充実させ、本校の教育内容を一目で理解できるよう工夫する。	・定期的にホームページの更新を行うことができたか。			
	インクルーシブ教育の推進のため、積極的に関係機関と連携を図り、様々な形態の共同学習、活動を推進することが重要である。	・地域社会との連携による開かれた学校づくり。	・学校運営協議会を通して、地域との共同学習・活動を充実させる。 ・北本高校と情報交換や交流学习を実施し、共生学校として相互理解を推進する。	・地域社会と連携して授業を行うことができたか。 ・北本高校との交流授業、情報共有を行うことができたか。			

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	令和	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			